

## 令和7年度臨床医学物理研究会のご案内

テーマ：知をつなぎ、医療を拓く

主催：臨床医学物理研究会

このたび、令和7年度臨床医学物理研究会を下記のとおり開催致します。

今回のテーマは「知をつなぎ、医療を拓く」です。昨今の高度化・多様化が進む放射線医療の現場では、最先端技術が臨床導入され、これらを支える医学物理士の役割がますます重要になっていきます。さらには、日常臨床に加え、機器開発、核医学、公的評価・審査業務など活躍の場は広がる一方、このような知識の共有や議論の機会は限られています。放射線医療の未来を切り拓くには、人材育成とモダリティを超えた知の連携が不可欠です。本研究会では、最前線でご活躍されている計9名の専門家を講師にお招きし、専門領域の垣根を越えた知見の融合により、新たな展望が拓けるよう以下の内容を中心にご講演いただきます。

- ・ 外部照射光子線治療/小線源治療/粒子線治療で役立つ知見
- ・ 核医学分野における医学物理士の役割
- ・ 医学物理士が知っておくべき医療機器開発

日々の臨床業務に追われる今だからこそ、立ち止まり、“明日の医学物理”を見つめ直す貴重な機会となることを願っております。是非、多くの皆様にご参加いただき、放射線医療の未来を切り拓く、熱量あふれる時間を皆様と共有し、意見を交換し合える場にできますと幸いです。

### 開催概要

- 日 時 : 2026年2月28日（土） 10:30～16:35（10:00より受付開始）
- 場 所 : 国立がん研究センター中央病院 新研究棟1F セミナールーム
- 定 員 : 200名（先着順）
- 参加費 : 2,000円（学生無料※）  
※常勤勤務していない学生に限ります。当日学生証をお持ちください。
- 対象者 : 医学物理士および医学物理士を目指している方  
放射線治療に関わる医師・診療放射線技師・企業の方・学生の方等
- 申込期間 : 2026年1月5日（月）～2月23日（火）23:59  
お申し込みは[こちら](#)か、右のQRコードよりお申し込みください。
- 単 位 : なし



お問い合わせ先：令和7年度臨床医学物理研究会事務局（担当：国立がん研究センター中央病院 千葉）  
E-mail : tachiba(at)ncc.go.jp （注）メール送付の際は(at)を@に変えてください。

## プログラム

10:30～	開会の挨拶	臨床医学物理研究会 副代表 東京医科大学 黒岡 将彦 先生
<b>第1部 外照射光子線治療の知をつなぐ</b>		座長 聖路加国際病院 山内遼平 先生
10:35～	Portal dosimetry (25分+質疑5分)	東京都済生会中央病院 キーワード: EPID、Prediction アルゴリズム、コミッショニング
11:05～	脳定位（仮） (25分+質疑5分)	国立がん研究センター中央病院 キーワード:
休憩（10分）		
<b>第2部 小線源治療の知をつなぐ</b>		座長 順天堂大学 飯島康太郎 先生
11:45～	IGBT の温故知新 (25分+質疑5分)	国立がん研究センター中央病院 キーワード: RALS, IGBT, Mixed Reality
12:15～	密封小線源を用いた Accelerated Partial Breast Irradiation (25分+質疑5分)	東京科学大学病院 キーワード: RALS, APBI, SAVI
休憩+弁当配布（15分）		
<b>ランチョンセミナー（共催：株式会社ハイメディック）</b>		座長 国立がん研究センター中央病院 中村 哲志 先生
13:00～	BNCT で放射線治療を切り拓く (35分+質疑5分)	国立がん研究センター中央病院 竹森 望弘 先生
休憩（10分）		
<b>第3部 粒子線治療の知をつなぐ</b>		座長 昭和医科大学 宮浦 和徳 先生
13:50～	マルチイオン治療のための治療計画 (25分+質疑5分)	量子科学技術研究開発機構 キーワード: 重粒子線治療, LET, 生物学的効果
14:20～	マルチイオン治療のための必要技術 (25分+質疑5分)	量子科学技術研究開発機構 キーワード: 重粒子線治療, 加速器, 照射装置, 安全性 解析
14:50～	放射線と腫瘍微小環境の相互作用：エクソソームを介した放射線応答機構 (25分+質疑5分)	国立がん研究センター中央病院 キーワード: 腫瘍微小環境, エクソソーム, 細胞間コミュニケーション, 放射線応答
休憩（10分）		
<b>第4部 新たな放射線医療を切り拓く</b>		座長 国立がん研究センター中央病院 千葉 貴仁 先生
15:30～	核医学 Dosimetry の現状と医学物理士の役割 (25分+質疑5分)	国立がん研究センター中央病院 キーワード: 核医学治療、Dosimetry、医学物理士
16:00～	プログラム医療機器の薬事規制と審査と考え方 (25分+質疑5分)	医薬品医療機器総合機構 キーワード: 医療機器、SaMD、薬機法、承認審査

---

16:30～16:35 閉会の挨拶

臨床医学物理研究会 理事  
国立がん研究センター中央病院  
中村 哲志 先生

---

17:00～ 情報交換会（築地周辺を予定）

\*都合により、演題名・講演者・講演順・講演時間等、変更になる場合があります。